

単元名 すなや つちと なかよし ーすなや つちでー(造形遊び)

配当時間 2時間

単元の目標 (1) いろいろな形や触った感じなどに気付き、工夫して表すことができる。
(2) 砂や土に進んで働きかけ、つくりたい形を思い付くとともに、自分が感じたことを友達に話したり、友達の話の聞いたりして活動の楽しさを感じることができる。
(3) 砂や土の感触を味わい、体全体を使って、造形的な活動を楽しんで取り組もうとする。

標準的な展開例

01080103_001

【準備等】バケツ、空容器、シャベル、ペットボトル、水、スコップ、汚れてもよい服装、タオル、帽子、水分補給のための水筒 など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 砂や土に触って、様々な造形活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の造形活動の様子を見て、どんな活動ができるかを考える。 <ul style="list-style-type: none"> 地面を掘る活動 土を積んで形をつくる活動 川や池をつくり、水を流す活動 <p>★砂や土に触って、いろいろな活動を楽しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に活動するためのきまりを知る。 <p>○土や砂の感触を十分に味わいながら、グループや個人で思い付いたことを試す。 <ul style="list-style-type: none"> 山にトンネルを掘ってみたい。 プリンカップを使ってみよう。 ギュッと握ってつくったお団子を並べてみよう。 </p> <p>○できた形をもとにさらにやってみたいことを思い付き、造形活動をする。 <ul style="list-style-type: none"> 葉っぱや枝で飾り付けをしよう。 水を流してみよう。 </p> <p>○できた形を見て、活動中の思いや工夫したことを発表したり、友人の発表を聞いたりして、活動を振り返る。</p> <p>○後片付けを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 1・2上 P.14, 15 場所を限定しないで活動する場合、事前に他学年の了解を得ておく。 場所の特徴とそれに合った材料や用具を選んでいることに気付かせる。 動きやすく、汚れてもよい服装に着替える。 活動の前に健康観察をする。 予想される活動に必要な道具や材料を準備しておく。 最初に、活動場所の範囲や道具の使い方など安全な活動ができるように指導する。 用具を使わない時の置き場所を示すようにする。 帽子をかぶらせたり、水分補給の時間を確保したりして熱中症の対策をする。 思い付いたことや気付いたことをどんどん試させる。 材料や用具を選ばせ、思い付いたことを生かしながら、表し方を工夫させる。 【評】学習活動を通して、用具を適切に用いたり、材料を付け加えたりして工夫して表す「知識・技能」を評価する。 友達と力を合わせて活動したり、他のグループとつなげたりしてもよいことを知らせる。 今までの活動を発表し、もっとやってみたいことを話し合うようにする。 水を流す活動をする場合には、ペットボトルやバケツなどを使わせる。 【評】学習活動を通して、砂や土でつくった形をもとに自分のイメージをもち、さらにつくりたい形を思い付く「思考・判断・表現」を評価する。 お互いの造形活動のよさを味わわせる。 活動場所全体の変化に気付くことができるように、少し離れた所から見るように促す。 【評】自分が感じたことを友人に話したり友人の話を聞いたりする活動を通して、できた形の面白さを感じ取る「思考・判断・表現」を評価する。 【評】これまでの学習活動や作品を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 使った道具はもとの場所に返し、使った材料はまだ使えるものと処分するものに分け、指示された場所に置くようにさせる。 健康観察をして、体調の変化に配慮する。

【備 考】

特別な教科道徳との関連

Dー(18)「身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。」と関連が深い。砂や土といった自然の材料に体全体で関わることを通して、目を向けることができるようにしたい。